

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

10月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告18件(前月比9.0、前年同月比2.6)で、有明13件、人吉2件、熊本、八代、宇城から各1件の報告でした。まだ少数ですが前月比は増加しており、例年通り今後は増加するものと推測されます。

小児科定点

（全体傾向）

報告数3,995件(前月比 1.01, 前年同月比 0.93)で、前月とほぼ同等の報告です。多くの感染症が前月と同レベル、あるいは減少傾向にある中、手足口病とRSウイルス感染症は増加傾向にあります。特に夏季に少なかった手足口病は、前月からの増加傾向が続いています。流行性耳下腺炎は引き続き高いレベルで推移しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告件数454件(前月比1.2、前年同月比1.7)でした。例年より早く8月から始まった増加傾向は、10月も緩やかに続いています。菊池、有明地区からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数46件(前月比0.5、前年同月比0.5)でした。初夏からの漸減傾向から9月は一旦増加しましたが、10月は再度減少しています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数205件(前月比0.9、前年同月比0.6)でした。例年10月から増加するのですが、今年はまだその傾向を認めません。宇城、次いで熊本地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1,667件(前月比1.0、前年同月比0.8)で、前月と同等の推移です。気温の低下とともに今後増加していくと予想されます。菊池地区からの報告が目立ちます。
5. 水痘 : 報告数64件(前月比0.7、前年同月比1.8)でした。定期予防接種の導入から2年が経過しましたが、今年は毎月50件前後の報告は続いています。定期接種対象年齢である1～2歳児の報告が多いようですので、早期接種及び2回接種の勧奨対策が必要と思われます。
6. 手足口病 : 報告数480件(前月比1.8、前年同月比1.6)でした。夏季は例年より低水準でしたが、9月からの季節外れの増加傾向は10月も続いています。1歳児を中心に乳幼児例が多く、地区別では菊池、天草からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 報告数17件(前月比1.1、前年同月比0.1)でした。報告地区の偏りは無く、昨年後半からの流行は終息したようです。
8. 突発性発疹 : 報告数133件(前月比0.6、前年同月比0.8)でした。例年同様、ほぼ横ばい状態で推移しています。
9. 百日咳 : 報告数3件(前月、前年同月共に発生報告は0)でした。菊池、八代、水俣からの報告で、年齢は1歳、10～14歳、20歳以上でした。
10. ヘルパンギーナ : 報告数159件(前月比1.0、前年同月比1.6)でした。7月のピーク以降は例年通りの減少傾向でしたが、今月は横ばい状態です。手足口病と同じ年齢層から、また菊池地区からの報告が多いようです。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数465件(前月比0.8、前年同月比2.1)でした。昨年後半からの流行は、未だ衰

えません。八代、菊池地区からの多数報告も続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告1件（20～29歳）、熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎： 件数109件(前月比1.4、前年同月0.5)と前月からの増加傾向が続いています。熊本78件、菊池4件、有明27件の報告です。年齢別では通常見られる20～49歳代のピークが50～59歳代まで広がっています。また、1～6歳の乳幼児層における発症も続いています。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数45件(前月比0.8、前年比0.8)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性25件、女性20件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～70歳以上に見られ、女性は15～39歳に見られます。地域別は、熊本が30件、次いで有明6件、宇城4件、御船、八代各2件、菊池1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数26件(前月比1.6、前年比1.9)で前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性12件、女性14件で、男性に多くみられます。年齢別は、男性は20～70歳以上に見られ、女性は20～70歳以上に見られ、男女ともに広い年齢に見られます。地域別は、熊本18件、次いで八代4件、菊池3件、有明1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数6件(前月比0.7、前年比2.0)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性3件、女性3件で、年齢別は男女ともに15～29歳でした。地域別は、熊本5件、有明1件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数22件(前月比0.8、前年比2.2)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性19件、女性3件でした。年齢別は、男性は15～59歳に見られ、女性は20～29歳に見られます。地域別は、熊本が15件、次いで宇城3件、菊池2件、八代、有明各1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
17件(前月比0.9、前年比0.9)の報告がありました。
熊本9件、山鹿2件、八代1件、人吉2件、有明1件、天草2件でした。
年齢は1～4歳：2件、50～54歳：1件、65～69歳：4件、70歳以上：10件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
3件(前月比0.5、前年比0.5)の報告がありました。
熊本2件、有明1件でした。年齢は1～4歳：1件、70歳以上：2件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告はありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 3件（前月比3.0、前年比3.0）の報告がありました。
熊本3件で、年齢は65～69歳：1件、70歳以上：2件でした。
2. 無菌性髄膜炎： 9件（前月比0.5、前年比1.8）の報告がありました。
熊本9件でした。年齢は0歳：1件、1～4歳：3件、5～9歳：3件、20～24歳：1件、70歳以上：1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 43件（前月比0.8、前年比0.9）の報告がありました。
熊本30件、阿蘇2件、水俣8件、有明1件、天草2件でした。年齢は1～4歳：8件、5～9歳：14件、10～14歳：13件、15～19歳：2件、25～29歳：3件、40～44歳：2件、60～64歳：1件でした。
4. クラミジア肺炎： 報告はありませんでした。（前月比－、前年比－）
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：報告はありませんでした。（前月比－、前年比－）

届け出対象感染症

1類感染症	：	報告はありませんでした。	
2類感染症	：	結核	21件
3類感染症	：	腸管出血性大腸菌感染症	9件
4類感染症	：	重症熱性血小板減少症候群	1件
		日本紅斑熱	1件
		レジオネラ症	5件
5類感染症	：	アメーバ赤痢	1件
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
		後天性免疫不全症候群	4件
		梅毒	1件
		麻しん	1件